

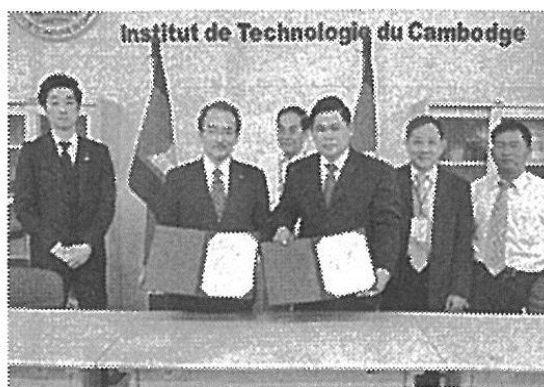
# 社会インフラ整備貢献へ

カンボジア  
工科大と

## 寄付講座開設で覚書

大成ロテック

大成ロテックは2月15日、日本とカンボジア王国間の情報共有と人材交流を通じて、カンボジア王国における道路建設など社会インフラ整備への貢献につながる事業を行うための調査を目的とし



て、カンボジア工科大学と寄付講座の開設に向けた覚書を締結した。写真。同社が海外の大学と覚書を交わすのは、昨年5月にベトナムの交通運輸大学と交わした研究開発に関する覚書に続く2件目。

同社は昨年7月に、カンボジア工科大学の職員を東京に招き、両国の道路建設事業や技術についての情報共有するための「国際技術セミナー」を開催した。その際に、同大学より講座開催の要望

があり、実現に向けて双方が協議を続けてきた結果、今回の基本覚書の締結に至った。

覚書の交換式に出席した町田佳隆国際支社長は、冒頭の挨拶で「お互いにとって意義のある講座を実施し、双方が協力して良い成果をあげることを期待している。今回の覚書の取り交わしがカンボジア、日本両国の更なる友好関係の発展に寄与することを願う」と述べた。

今後、双方による講座の内容に関する詳細な検討が行われ、早ければ、今年の10月より講座が開設される見通しとなる。